

武川岳山行報告

【山行日】2018年4月22(日) 快晴
【集 合】岩舟支所P AM 5:00
【費 用】マイカー1台 : 2,600円
【メンバー】CL:鈴木、大西、島田、関、藤原
【コースタイム】岩舟支所 P5:00=道の駅「果樹公園あしがくぼ」6:30/6:45~二子山(雄岳)
8:50/9:00 ~ 焼山 :9:30/9:50 ~ 武川岳
11:10/11:40~名栗げんきプラザ 13:05/13:15
~長岩峠 13:45~正丸駅 14:50/15:10=
岩舟支所 P17:00



武川岳に登りたいというリクエストがあり、前回秋に登ったので今回は新緑の時季に計画した。東北道から圏央道を走り、日高ICで降り国道299号を走り道の駅「果樹公園あしがくぼ」に着く。トイレを済ませストレッチを行ってから出発する。道の駅の裏側に進むと、「二子山」への案内標識がある。案内標識に従って線路脇を歩き、左にトンネルをくぐって線路を渡ると雑木林の山道になる。



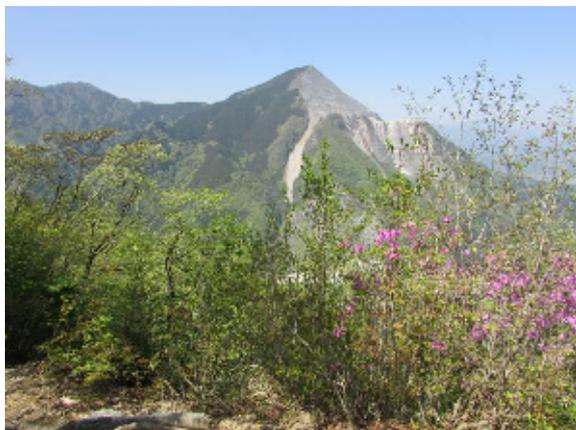
小尾根を越えて沢を渡ると、木立の美しい山道に登るようになる。沢沿いに登り、尾根に取りつくと背後が開け丸山や赤久縄山等が見えてくる。平らな尾根に登り上げ、尾根を右に進むと二子山への登りになり、急な木段道に登るようになる。増々傾斜がきつくなり、ロープを頼りに登ると二子山雌岳の頂上に出る。小休止し息を整えたら南に向かって急坂を下り、登り返すと雄岳の山頂に着く。二子山雄岳は武川岳方面を望む明るい頂で、休憩して果物や菓

子を食べエネルギーを補給する。

西側の岩場から武甲山や浅間山などが眺められ、眺望を楽しみながら休憩する。ここから武川岳に向かって南に下り、下り切った所でカメラが無いことに気付く。雄岳に置き忘れたようで、我輩だけ来た道を取り返しに行き、皆は先に進んでもらい焼山で待ち合わせる。雄岳に戻ると休憩した場所にカメラがあり、無事に確保して焼山へ向かう。往復25分のアルバイトで皆の後を追いつき、焼山山頂で皆と合流できた。焼山山頂は眺望がよく、武甲山が間近に見え背後には二子山、行く手には武川岳が堂々たる姿を見せている。記念写真を撮ったら出発し、南の尾根をアップダウンを繰り返し徐々に高度を上げて行く。一旦林道に降り、林道を200m位進んだ



ところから尾根道に戻る。さらにアップダウンを繰り返し登り、尾根に登り上がると右に回り込み露岩が現れると蔦岩山山頂に着く。かすかに字が読める古い標識があり、ここからは目指す武川岳が目の前に迫っている。ここから雑木林の美しい山稜を緩やかに登ると、まもなく武川岳山頂に着く。



山頂は大勢の登山者が休憩していたが、日が当たるベンチは暑いので皆樹林帯の日陰で昼食を食べていた。我々も山頂の記念写真を撮り、景色を楽しんだら樹林帯に入りランチタイムにする。今日の山ご飯は暑くなる事を見越し、冷たい蕎麦に山菜の天ぷらにした。山菜は昨日の足尾植樹祭の直売所で買ったコゴミとコシアブラだ。Sさんが「美味しい！美味しい！」と喜んで食べてくれた。食後のお茶をいただいたら下山する。

武川岳から東に延びる稜線を進み、見晴台と呼ばれる小ピークから南東の尾根を下って行く。急坂に落ち葉が積もり、滑りやすい登山道を慎重に下ると林道に出る。林道を横切り直ぐに山道に入り、緩やかに下って行くと「名栗げんきプラザ」の遊歩道になり、げんきプラザの脇に出る。舗装道を左に下り、直ぐに右の林道に入り日陰で小休止する。冷たいヨーグルトを食べて喉を潤し、疲れた体を休める。林道を200m位進むと道標があり、道標に従って左に降りて沢を渡り長岩峠への登りに取付く。標高差は100mくらいだが、疲れた体には堪える登りだ。最後の力を振り絞って峠まで登り切り、ここから我輩が正丸駅まで先行し車を回収する。F原さんに駅の時刻を調べてもらい、14:46と聞いて楽勝と思ったら大間違いで14:19だった。正丸駅への階段を登っていると電車が駅に入って行く。「そんなバカな」あわてて階段を駆け上り、駅員さんへ事情を話し切符を買わずに駅に入れてもらいホームへの階段を駆け上りセーフ。本日一番息が上がり、苦しい登りだった。道の駅で車を回収し、正丸駅に着くと皆さんはまだ来てなかった。しばらく待つと皆が到着し、靴を履き替えてトイレを済ませて帰路につく。帰りの高速道も順調に走り、予定通り岩舟支所に帰着した。

